

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	総務課担当課長 渡邊 好二	
総務-08	実施事業	統計事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 総務課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の利用や、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
効果	市民等に情報提供をし、各種施策の基礎資料として利用する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・統計調査を行うための基礎的な管理事務を行った。 ・統計情報を広く提供した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	3,554	2,204	当初予算(千円)	2,435			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	8	7	その他	8			
	一般財源	3,546	2,197	一般財源	2,427			
事業経費運営	人員配置数	1.0	0.6	人員配置数	0.6			
	人件費(千円)	7,914	4,516	人件費(千円)	4,581			
	総事業費(千円)	11,468	6,720	総事業費(千円)	7,016			
	市民1人当りの経費(円)	65	38	市民1人当りの経費(円)	40			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業内容は適切であり、市民生活に関する施策等の基礎資料となる各種統計調査を円滑に進めるために統計調査員の確保を行い、実施した統計調査の結果を速やかに提供するため、現状維持の必要がある。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	引き続き調査を円滑に行うため調査員の確保をする。各種統計データの提供手段として、ホームページやオープンデータの活用をし、統計書として「鎌倉の統計」を発行した。市民の要求に応じ、資料の提供を行うとともに、市が施策を講じていく上での基礎的データを調製する事務であり、現状の方向性・予算を確保する必要があるものとする。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	各種統計調査を円滑に実施するため、登録統計調査員の確保に努める。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	各種統計調査経験者へ統計調査員の登録を依頼し、15名の新規調査員を確保した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	継続して統計調査員の確保に努め、資質向上を図る。統計情報を速やかに提供します。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											